

<新しいウエア>

各調整ベルトが役割別に色分され、わかり易くなりました。詳しくは、冊子中をご覧ください。
2013年1月発売予定！！

- : 体型に合わせるベルト
- : 体を吊るベルト
- : 体の揺れを抑えるベルト



<2回目からは簡単装着>

フィッティング完了後の着脱は、背中のバックルとフラスナーを開けるだけ。



<リハビリと Wilmog>

ウィルモグは、ウエアを介してフレームと体を固定しますので、後ろ足の稼働域を制限しません。歩行時に起きる、後ろ足の反射運動を妨げること無く、リハビリ効果が期待できます。また、地面に足をつけて、歩行器として使用することも出来ます。



<サイズと調整>

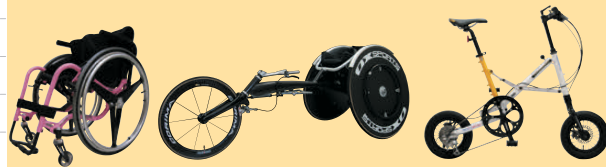
ウィルモグは、1サイズのフレームにS/M/Lの3サイズのウエアと3サイズの調整部品を使用して、犬種や体型に合わせてフィッティングします。



前足用アタッチメント 開発中



オーエックスは、人間用の車いすを企画から生産まで行い、オートバイや自転車も手がけるメーカーです。



【動物病院向け販売】

株式会社インターズー・クリニッククラブ

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2丁目21-15 TEL 0120-548-590

- ◆ 価格は参考価格です。
- ◆ 本仕様は予告なく変更することがあります。
- ◆ 無断転載禁止。
- ◆ 仕様変更などにより、写真や内容が一部実物と異なる場合があります。
- ◆ 色あいについては、撮影時および印刷条件などにより、実際の色と異なって見えることがあります。

2017年4月版

【製造】
株式会社 オーエックスエンジニアリング
〒265-0043 千葉県千葉市若葉区中田町2186-1
TEL 043-228-0777 FAX 043-228-3334 <http://www.oxgroup.co.jp/>

安全上のご注意



正しく安全にお使いいただくために、ご使用の際に必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

犬用車いす

ウィルモグ

Wilmog

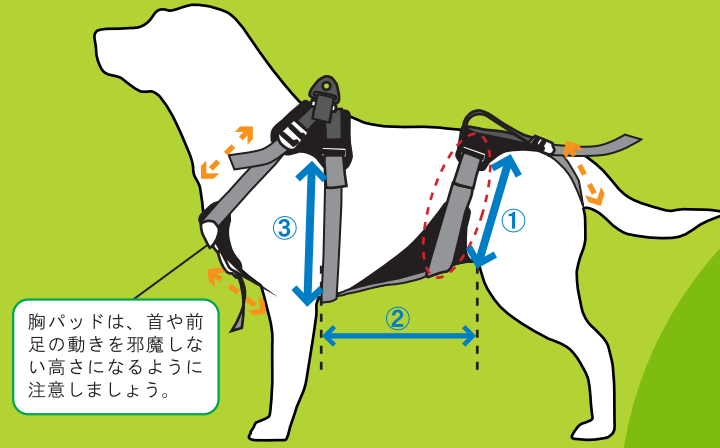


簡単調整マニュアル

1. 着る

まずは、ウェアを着せます

きつ過ぎたり、緩過ぎて着崩れたりしないように注意しながら**灰色のベルト**を調整します。腰の一番細いところ(図中**赤点線**)にあわせて①胸囲を調整したら、そこを基準に②前後足間隔を決定、その後③胸囲を調整します。最後に他のベルトを適度に張れば、自然とワンちゃんの体型にフィットします。



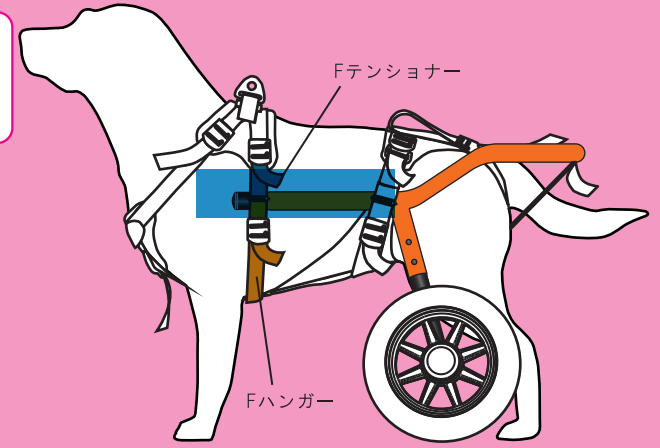
胸パッドは、首や前足の動きを邪魔しない高さになるように注意しましょう。

2. フレーム

フレームは地面と水平に

ワンちゃんの負担を軽減する上で重要なポイントです。以降の作業3.~4.を行うにあたり、常に意識してください。フレーム前方部分の高さ及び長さは**青帯**の範囲に入るよう心がけましょう。フレーム幅は、肩幅より2~3cm広くなるようにします。

「4. バランス」の後、フレームが上下左右に揺れないように、「ハンガー」と「テンショナー」を適度に張ります。



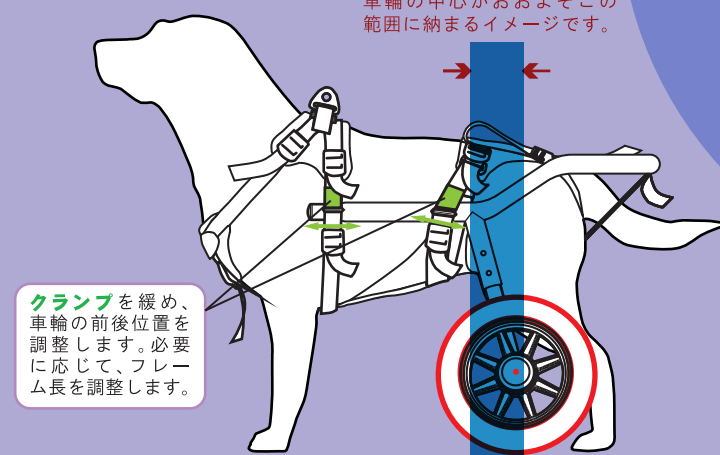
5. 歩こう!

レッグポケットに足を入れて、出発

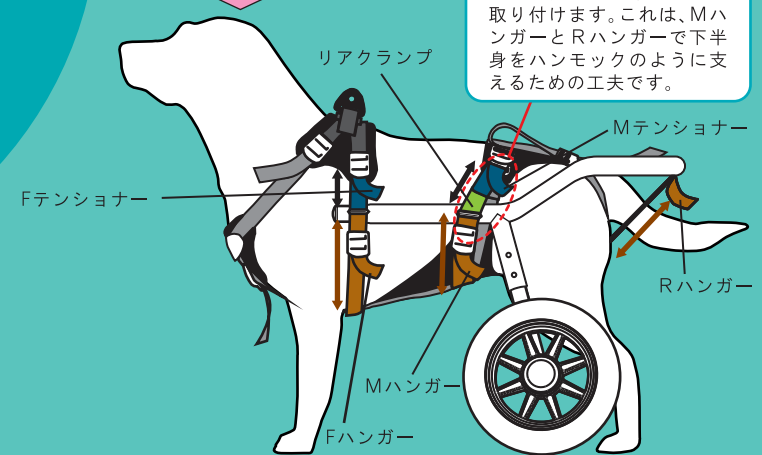
レッグポケットの取り付けは、脱げにくければどこでもOK。後足を入れ、地面にすらない高さに取り付けます。反射反応で後足を動かすワンちゃんもいますので、脱げにくい位置を探してみましょう。後足を地面に着いて歩くワンちゃんは、Mテンショナーをゆるめると、お尻の動きを邪魔せず歩きやすくなります。

車輪の中心がおおよそこの範囲に納まるイメージです。

リアクランプは、図のようにウエストの灰色のベルトに対し少し前に来るように取り付けます。これは、MハンガーとRハンガーで下半身をハンモックのように支えるための工夫です。



クランプを緩め、車輪の前後位置を調整します。必要に応じて、フレーム長を調整します。



4. バランス

車輪の前後位置が、装着のキーポイント

ワンちゃんの姿勢や動きやすさを決める大切なポイントです。車輪が前すぎると、歩行時のバランスが取りにくく、さらには強制的にお座りのような姿勢に。車輪が後すぎると、前足や背中への負担が増えてしまいます。後足つけ根の前側あたりを基準に、重心が安定する位置をさがしましょう。

3. 姿勢

めざすは、健常犬の姿勢

後足の補助に車いすを使いますが、お尻を過剰に持ち上げたりはしません。お腹側の**茶色ベルト**は「ハンガー」といって、ワンちゃんの体を吊っているベルトです。自然なお尻の高さになるように張り具合を調整します。背中側の**黒ベルト**は「テンショナー」。体の揺れを抑えます。